

現状は…

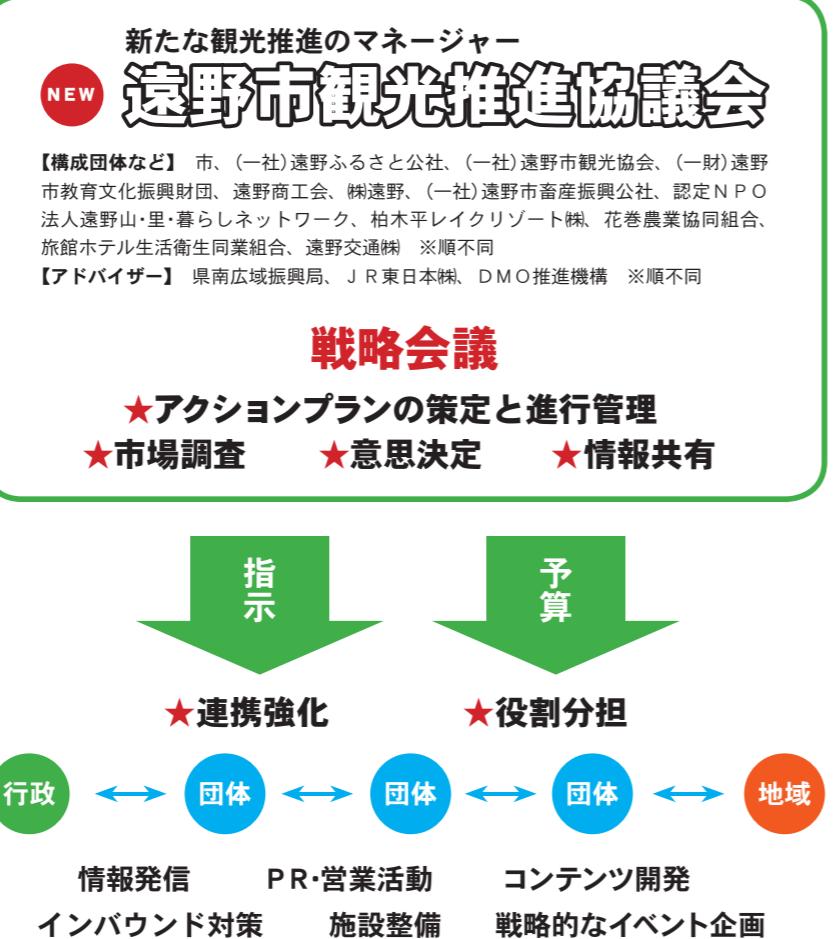
マネジメント不足…



観光関係機関・団体で活動がバラバラ、または重複しているため、遠野全体で効果的な誘客がなされていませんでした。

【従来の体制の課題点】

- ①行政や観光事業者、他の産業、市民、地域の情報共有や連携、協力が不足
- ②戦略的な集客ノウハウ・仕組みがない
- ③地域都合優先による顧客ニーズとのミスマッチ
- ④市全体の観光消費額を把握できていない



**オール遠野でがっちり!**

顧客ニーズに対応する  
新たな体制構築を目指す

遠野ファンを増やし  
観光から交流・移住へ

遠野市観光推進協議会の設立総会が開かれました。遠野市長は「観光業を活性化させ、地域の発展に貢献する」と述べました。また、遠野市観光推進協議会の代表者は「地域の資源を最大限に活用し、観光客を呼び込む」と述べました。

関する市内12団体で組織する「遠野市観光推進協議会」(以下、協議会)を設立。オール遠野で観光業を元気にするプロジェクトに取り組みます。

従来の体制は、観光施設や宿泊施設の運営者、プロモーションやイベントの実施者が多岐にわたり、観光全体のマネジメントを行う組織が不在でした。そのため、関係機関・団体の連携が不足し、活動がバラバラだったり、活動内容が重複したりして、効率的な誘客がなされていない現状にありました。

そこで、今後は協議会が新たな体制の構築に取り組みます。まず、市場調査を基に、今後3年間のアクションプランを策定定期的に戦略会議を開き、プランの進行管理を行います。

さらに、関係機関・団体の連携強化や役割分担などをコミュニケーションで行い、▼情報発信▼PR・営業▼コンテンツ開発▼インバウンド対策▼施設整備▼イベント企画など効率的に展開できます。観光客のニーズに応じて、指示と予算配分を行います。

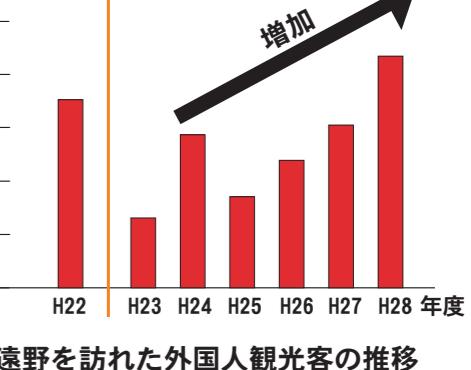
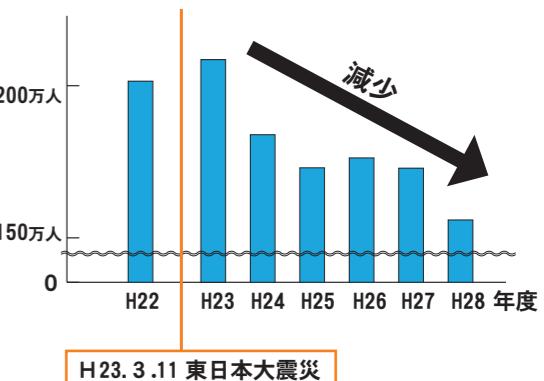
協議会の目標は、観光客だけではなく、「遠野ファン」を増やすこと。そして、リピーターやサポートーといった交流人口を増やし、移住定住にもつなげたいと考えています。遠野を知らない人が訪れてみたいと思う、一度観光で来た人がまた訪れたいくと思う、そして、何度も訪れるうちに住んでみたいと思う。遠野をそんな場所にするため、協議会はオール遠野で観光まちづくりに挑戦します。

しっかりと対応できる体制を構築します。



本市への観光客は近年、減少傾向にあります。  
その現状を開拓するため、「オール遠野」で観光業を元気にする  
「遠野市観光推進協議会」が設立されました。

遠野を訪れた観光客の推移



12月9日、市役所本庁舎で設立総会が開かれました